

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 3 月 16日

事業所名 こどもらんど第2教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			収納できる物は可能な限り収納しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			1日5名の職員配置をし、個別対応で学習支援・療育を行なっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			事業所内は全てバリアフリー化しています。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			ミーティングや事例検討会を通して課題の共有と改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表を通して、保護者等の意向を把握し、可能な限り業務改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は受けていませんが、機会があれば、積極的に実施したいと思います。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月に1度の事業所内研修と外部研修を受ける機会を設けています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			面談や日々のやり取りの中で、本人保護者のニーズを把握し、課題を客観的に分析したサービス計画の作成に努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所独自のアセスメントシートを作成し、状況の把握を行なっています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティング等で話し合いを設け、チームで活動プログラムの立案を行なっています。	
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			平日利用、長時間利用で違ったプログラムを提供しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			1人1人に合った活動プログラムを設定し、個別療育・学習支援も行なっています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動と個別活動を組み合わせ計画案を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングを行ない、活動や支援の流れ、役割分担についての確認、情報共有を行なっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後には、ミーティング時間を設け、支援の振り返りや気づきの共有を行なっています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			職員間で正しい記録の方法を共通認識し、記録を行ない、支援の検証・改善に努めています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行ない、計画の見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			可能な限り参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			学校と連携を図る為、送迎時に学校と子ども達の情報交換、共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			受け入れる場合は、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時マニュアルに沿って迅速に対応出来るようにしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				入学支援会議を実施し、情報共有を行なっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				情報共有を行なえるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				情報共有や状況に応じて連絡を取り合っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			現在、コロナ禍という事もあり、他事業所との交流は控えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○				可能な限り参加しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				連絡ノートやお迎え時に保護者の方と情報共有や共通理解が出来るように努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			こちらで支援した内容は、お迎えの時などに保護者の方にお伝えしています。
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				施設内掲示と共に、利用者契約の際に、運営規定、重要事項説明書の説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				相談があれば、その都度対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		各ご家庭の状況を尊重し、保護者会等は設けておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情受付担当者や解決責任者の体制を整備し、迅速に対応できるように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				毎週、活動内容・状況をホームページでお知らせしており、保護者との情報共有を図っています。

任 等	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に個人情報の取り扱いについて、書面で説明を行ない、常に取り扱いには注意を払うよう努めています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡ノートやお迎え時に保護者の方と情報共有や共通理解が出来るように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナ禍により、人が集まる機会を設ける事が出来ない状況となっています。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		対応マニュアルを策定しており、状況に応じて適宜周知をしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置し、事業所で研修を実施し、対応方法などの勉強を行なっています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		対象となる児童がいる場合には、子どもや保護者に対して、事前の十分な説明を行ない、了解を得た上で個別支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーの有無確認は、利用開始時に行なっています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		供覧出来るようにしています。		